人と猫との調和のとれたまちづくり

～「地域猫対策」について～

1 野良猫にかかわる問題

役場や保健所には糞尿被害、発情期の鳴き声やケンカ、畑荒らし、空き家などで生まれる子猫等の苦情や猫を助けたいという相談が数多く寄せられています。

野良猫に迷惑している人、野良猫の置かれている状況に心を痛めている人、野良猫にエサをやっている人、それぞれ立場は異なりますが、「野良猫を減らしたい」という思いは共通ではないでしょうか。



2 野良猫にかかわる問題をどうすればいいの？

地域に野良猫が何頭か住みつくと猫はどんどん増えていきます。保健所では猫を駆除することはできません。地域の環境は悪くなっていきます。猫は増え続けます。そこで注目されている対策の１つに『地域猫対策』があります。

『地域猫対策』とは…

① 不妊去勢手術を行い、
② トイレの設置やエサの後片付けをしながら、
③ 地域の皆さまのご協力で進める取り組みです。

↓

飼い主のいない猫（野良猫）が増えないようにして、野良猫問題を解決する取組です。
（野良猫減少→地域環境改善、近隣トラブルも解決）



捕獲の時間と場所が決まったら捕獲箱を仕掛け、近くで見張ります。捕まった猫はパニックになり暴れます。すぐに布などで捕獲箱を覆い、猫を落ち着かせます。

猫の捕獲には地域の人が協力し合えるようにし、車の荷台にブルーシートやペットシーツを敷いて病院に搬送します。

手術が済んでいる事の目印に耳をＶ字カットします。麻酔から完全に覚めてから、元いた場所に戻します。

しばらくの間テリトリーの安全な場所で傷をいやして出てこないこともありますが、手術後は穏やかになります。



⑵『エサやり』のルールを決める

エサは決まった時間と場所であげて食べ終わったら片付けます。置きエサはカラスなど他の動物や虫のエサになり迷惑です。エサの置きっぱなしは禁止です。猫の頭数分のエサ容器を用意し、１頭ずつ個別にエサをあげます。給餌時間の短縮にもなり、個体を管理しやすく、流入してくる猫についても対処（エサをやりＴＮＲの対象とするもしくはエサをやらずに追い払う）しやすくなります。

ゴミあさりなどが減少します



人も動物も共生できる町に







⑶トイレの設置と管理

猫は、トイレのしつけがしやすい動物です。食事の後比較的近くの落ち着ける場所で土や砂があるところにします。この性質を利用してトイレを工夫します。

簡単な方法は、ものかげに工事用の砂や道に散っている砂利をほんの少し盛り、糞で臭い付けします。

１週間に１～２回は砂を取り替え、できるだけこまめに糞を片付けます。トイレに使われて困っていた場所には猫の嫌がる臭いや嫌いなものを置きます。

地域の環境が改善されます

3 「地域猫対策」の詳細を知りたいのだけれど、どうすればよいの？

お住まいの役場か保健所にご相談ください。状況把握をするとともに困っている人や関係者に集まってもらい、問題点の整理と解決を目指す話し合いを進めます。

地域猫対策は、地域住民、ボランティア、行政が一体となって取り組む協働事業です。地域のお住まいの皆さまの理解と協力が何よりも大切です。



近所に暮らす人たちと、同じ目的に向かいます！



飼い主のいない猫を、殺しても傷つけても大きな犯罪です。

動物愛護管理法



殺傷犯罪
罰金500万円以下
または懲役5年以下
飼い主が衰弱させるなどの虐待犯罪
罰金100万円以下
または懲役1年以下

※令和２年６月現在

4 地域猫対策の具体策は？

(1)『ＴＮＲ』の実施

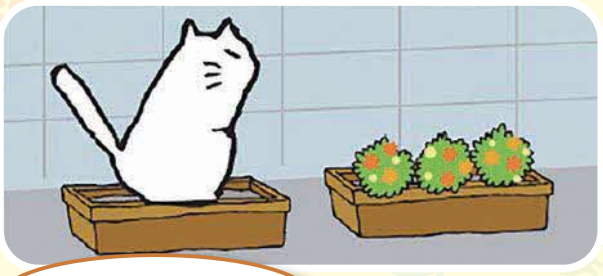
ＴＮＲとは､所有者のいない猫を捕まえて（t：トラップ)、不妊去勢手術を行い（N：ニューター)、元の場所に戻す（R：リターン）活動のことです。





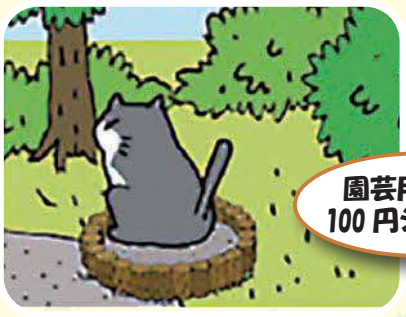
野良猫は警戒心の強い動物です。手術のために保護するには、その猫がなついている方の協力が必要です。捕獲箱の設置場所・エサの種類・時間帯・獣医師の予約・近隣へのお知らせ等詳しい実施方法は、保健所や市町職員等と相談しながら地域の皆さまで決めます。

野良猫が増えません。発情の鳴き声やケンカも少なくなります



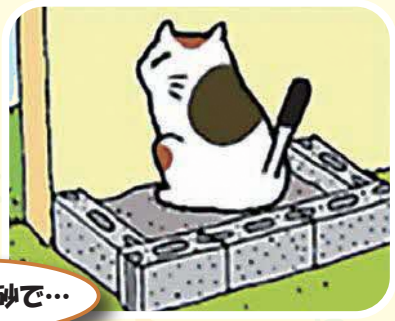


猫が嫌いなものを置きます。
超音波で猫を寄せ付けない器具も市販されています。



アイデア次第で様々なトイレ







「地域猫対策」の効果は、

1 野良猫に不妊去勢手術を行い、繁殖を制限することができます。

2 時間を決めてエサを与え、片づけを行うことでゴミあさり等がなくなります。

3 猫用トイレ等を設置管理することで糞尿の被害が軽減されます。

野良猫の寿命は４～５年と短く、この対策を続けていくことで徐々に猫の数が減り、同時に様々な問題も減ってきます。また、不妊去勢手術を行った猫は発情の鳴き声やケンカがなくなり、マーキングも減り、おしっこの臭いも薄くなります。

猫で困った問題が起きている場合は、皆様からのご意見をもとに話し合いを進めます。そのためにご協力をお願いします。また、地域猫活動をしているボランティアへのご理解とご協力を重ねてお願いします。

お問い合わせ **中部総合事務所倉吉保健所** 電話 (0858)23-3149 FAX (0858)23-4803
西部総合事務所米子保健所 電話 (0859)31-9320 FAX (0859)31-9647
※東部園域は、鳥取市保健所生活安全課 電話 (0857) 30-8551 FAX (0857) 20-3962

編集協力／イラストレーション © 中澤祥子・ＮＰＯねこだすけ